

第二回 中間報告

平成 12 年 8 月 9 日
自由民主党・政務調査会
石油等資源・エネルギー対策調査会
エネルギー総合政策小委員会

これまで我が党は、石油の安定維持、規制緩和、省エネルギー・代エネルギーの推進、原子力安全規制・防災対策など、個々のテーマに対して適切に対処してきたが、最近の情勢変化を踏まえ、エネルギーに関する中長期的な総合政策を討議することが必要との認識に至り、平成 12 年 3 月 31 日に「エネルギー総合政策小委員会」が設置された。

小委員会は学識経験者等からのヒアリングも含め 7 回にわたる討議を行い、5 月 24 日、第一回中間報告をとりまとめた。その際、「今後の検討課題」として、

1. 異なる政策目標間の調整メカニズムをどのように考えるか。
2. エネルギー諸税の見直し等経済措置をどう考えるか
3. 新エネルギーを補完エネルギーとして推進強化する具体策
4. エネルギー政策の決定システム

を明記したが、今回、7 月 31 日から本日まで計 6 回、有識者等の意見を拝聴しながら議論を重ね、以下の二点につき、ここに取りまとめを行った。

環境税・炭素税等を導入する場合は、十分検討の上で行うこと
新エネルギーの評価とその推進策

今後も、残された課題を含め、広く調査研究を継続する。